

こんにちは

日本共産党 週刊県議会ニュース
2019年5月19日 NO. 1015

きらとみひこ
吉良富彦です

事務所 吉良富彦事務所 855-9439 愛宕商店街
議会控室 823-9524 県議会内

5人で初調査 嶺北四町村 訓練中止で一致

●本山町役場で町長は、中山間住民の命の綱であるドクターヘリの飛行までもが危険に晒されている、嶺北4町村に必要なものは「保幼小中高医、そしてジェット戦闘機の飛ばない空!」と、飛行停止への断固とし

米軍機低空飛行問題で懇談

保育士や保護者(右列)と懇談する松本氏(こちら向き左から3人目)と県議団(8日、高知県本山町)



日本共産党高知県議団と松本けんじ参院徳島・高知選挙区候補らは8日、米軍機の低空飛行問題で本山町に調査に入りました。

「身の危険感じる騒音」

党高知県議団・松本参院候補 本山町を調査

同町は米軍機の低空飛行訓練ルート「オレンシルート」の直下に位置しています。町によると、4月11日に米軍の戦闘機2機が午後0時47分、同0時52分、同1時の計3回、中心街の上空を超低空で飛行。町役場の騒音計ではいずれも100デシベルを超え、住民から「身の危険を感じるほどの騒音だった」との声が寄せられました。地元紙によると、最後の飛行の約40分後に、同じ空域を高知医療センターのドクターヘリが飛行しました。一行が町役場で懇談した細川博司町長は、米軍機の低空飛行訓練は安心、安全の生活環境を乱すと厳しく批判。防衛省が地方自治体に事前に飛行ルートなどの情報を知らせないことは「不都合の極み」とのべ、ドクターヘリの安全な運行への対応を求めました。本山保育所では大西利恵所長(58)らから話を聞きました。11日は昼寝の時間に戦闘機が真上を飛び、保育士は子どもたちが爆音にびくくりして跳び起き、「怖い」と泣き出したりしたと語りました。保護者会の田岡優会長(43)は「私自身、危ないと感じた。事故が起きてからでは取り返しがつかない。3歳の長男を通わせる田岡友香さん(44)は「なぜ住宅街の上を飛ばないといけないのか」と批判しました。大西所長は保育所が子どもたちに恐怖を感じさせる場所にさせられているとし、「このままでは、子どもたちの命が守れない」とのべました。11日の飛行を受け、保護者会は低空飛行訓練の中止を求めるのがき運動に取り組んでいます。松本氏は低空飛行訓練を中止させるため力を合わせて頑張ると語りました。



た姿勢が示されました。●次に訪れた本山町立保育所では、6年前の夜間飛行

を止めた保護者や住民の運動を思い出し、日米両政府に「日本の空で戦争の訓練はやめてください」はがき(左写真)運動を進め子どもの命を守る決意が話されました。県議団も共に力を合わせます。

●「暮らしは良くなる あなたの声で」 松本けんじ参院高知徳島選挙区候補が10日に事務所開き。公示日まで50日! 市民と野党統一で勝利を!

キラリンにやんでも通信